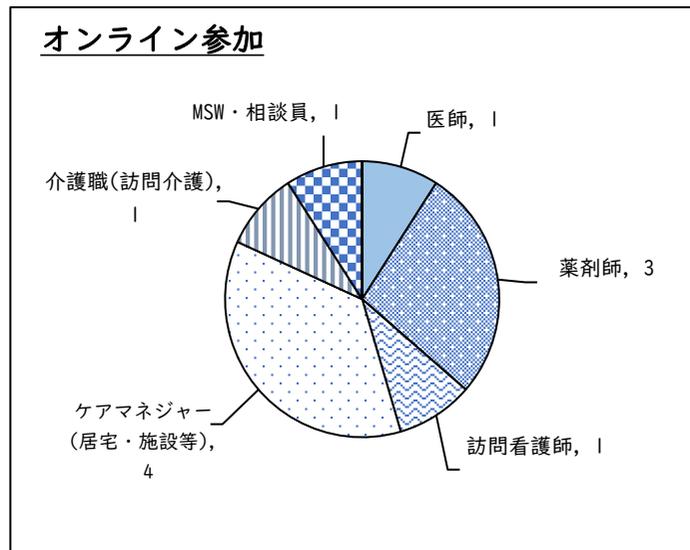
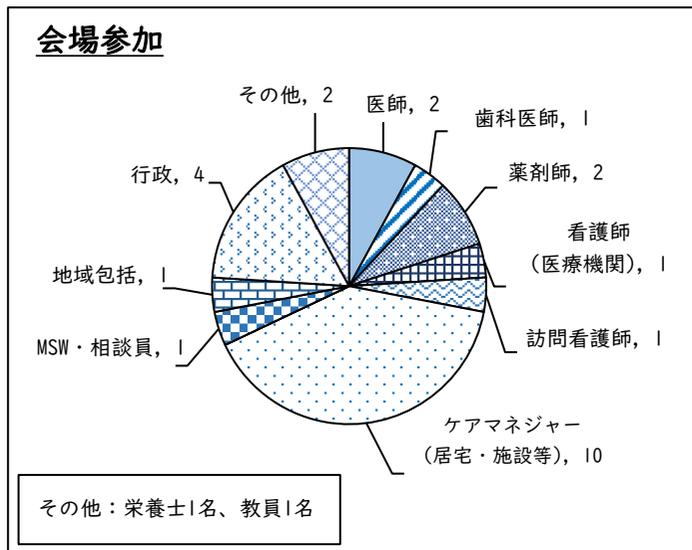


令和6年度 第1回事例を通して学ぶ多職種研修会アンケート結果

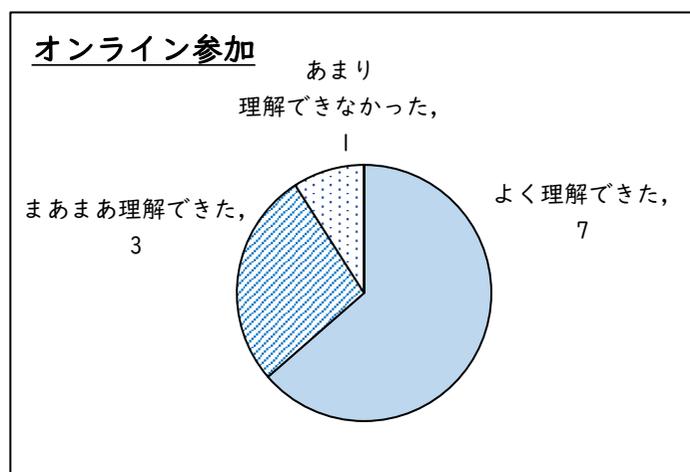
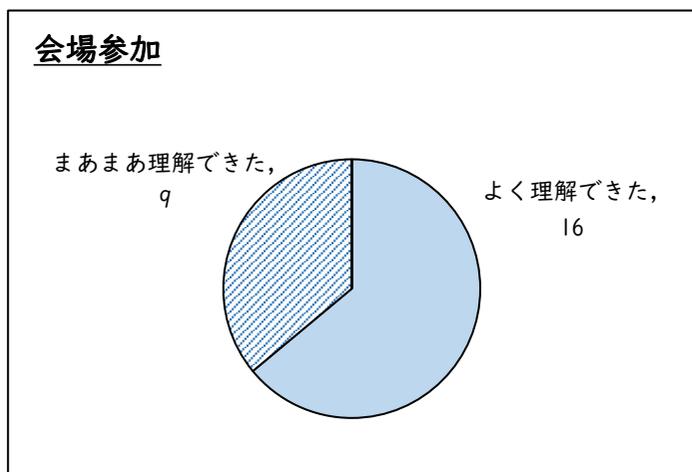
日時： 令和6年9月11日(水) 19時～

回答率： 会場参加 25/27名(92.6%)、オンライン参加 11/27名(40.7%)

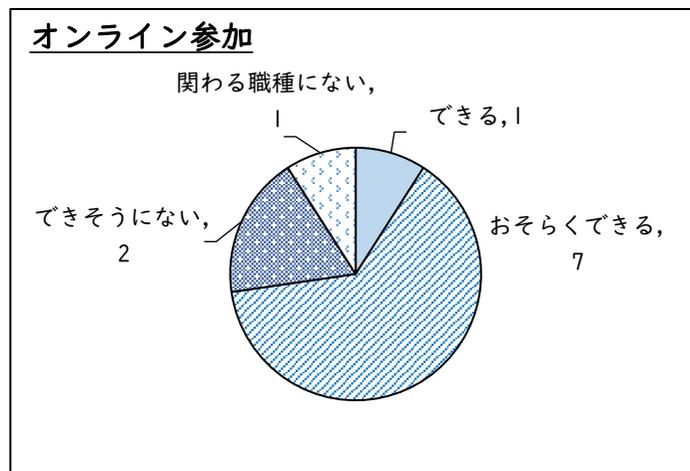
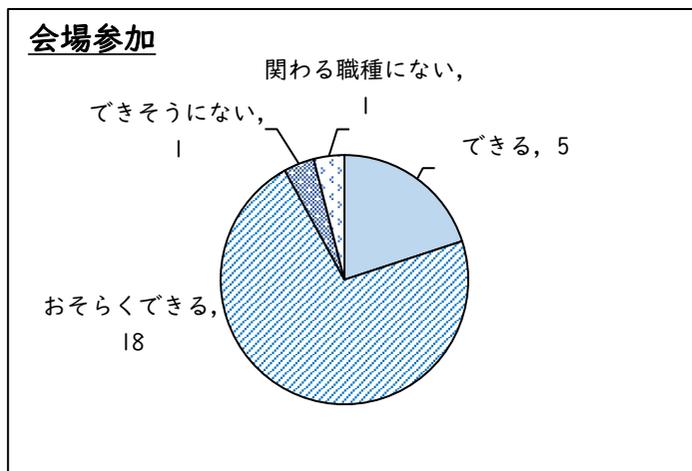
1. 職種について



2. 薩摩川内市の実情及び取組について理解できましたか。



3. 講演やグループワークの内容を日頃の業務に活かすことができそうですか。



「できそうにない」、「とてもできない」と答えられた方はその理由を教えてください。

〈会場〉

- ・話を伺うスキルに自信はないですが、何かしらの力になりたいので協力、支援はします。
- ・対象となる子供の権利が侵害され、労働力として搾取を受ける様なつらい事案であるが、法が不十分かつ社会の大人の認識も足りないと思われるから。

〈オンライン〉

- ・薩摩川内市の実態を伺うと「産後うつや育児能力の低い母親」への支援のようであるが、ヘルパーが訪問することで子育てを行う環境は整うが、母親自身の改善になるのか疑問である。「してくれるのが当たり前」になると、ほかの支援方法はないのかと思う。

4. 本日の研修内容について、ご意見等があればお聞かせください。

〈会場〉

- ・相談が少しでも上がってきて全体で支援が広がるように協力していきたい。
- ・もっとたくさんの大人たちに今日の講演を聴かせたい、聴いてほしいと思うので、出張講演を強化してほしい。とても良い講演でした。ありがとうございました。
- ・社会福祉課での取り組みが良くわかりました。すぐにでも対応しなければならない問題ですが、そこに介入する難しさもわかります。私たちも普段の業務の中で気づいたこと、周知も含めて協力したい。
- ・市の取り組みについて深く知り得ることができました。ヤングケアラーという言葉の意味とどんな場所につなげればよいか理解できた。皆様と協力していきたいと切に感じました。
- ・24時間対応の相談窓口を設けていることに驚きました。ヤングケアラーという言葉を使わずにヤングケアラーであることに気づいてもらうのは難しいなと思いました。「他人に介入してほしいくない」という反発。ヤングケアラーであることがその子のアイデンティティになっているのかもしれない、難しいなと思いました。
- ・日本では(他の国もそうかもしれないけど)昔話からマンガ、文学などでもヤングケアラーを描いた作品が多くあり、それを美しく描写されていることが多いように思うので、そのような素地がある中での取り組み、難しいなと思いました。
- ・市で把握した現状から課題解決に向けた事業を知ることができた。ただ、なかなか進まない現状に難しさを感じました。
- ・専門職の方の考えかたがとても参考になり、有意義でした。
- ・市や地域の相談をつなげることが出来るところをMAP化して欲しい。
- ・最初の取りかかりの研修としてとても興味深く聞くことができました。
- ・子育て支援ヘルパーが始まった経緯なども聞いてよかったです。今後の取り組みについては、1番に大人への周知をPTA、父親参観、保育園等です。また、親の困り事の相談受付等についてもあればいいのかなと思いました。
- ・繰り返し繰り返し思いを伝え、多くの人がヤングケアラーを認識し、身近な問題に気づいてもらえる、気づくことができる人が増えたら良いと考える。
- ・「相談する」ということの意味を理解できない年齢の子供たちに気づきを伝えるということは、むずかしい事ですね。いつでもチームとして動きます!!「子供がこどもらしく生活できる」大事なことだと思います。中島さん、お疲れ様でした。
- ・ヤングケアラーといっても、色々な問題がからんでいるので、見つけることがまずは大事だと思いました。
- ・よく考えたらヤングケアラーについてお話を聞いていました。
- ・学校教員が、成績面から気づくことが多いのではないのでしょうか。面接、面談をしてわかることもあるのでは。
- ・ヤングケアラー→この言葉を他の言葉にかえていけばいいなと思います。ACP=人生会議のように。
- ・なぜ今これほどヤングケアラーについての支援がさかんに言われるようになったのはなぜなのかなと知りたくなりました。
- ・身近に起きている問題であるが、係り方が難しい。まずは市役所へ一報することが難しい問題である。
- ・ヤングケアラーはテーマが大きいと思っていましたが、本日の研修では本市の取り組みが具体的に知れてよかったです。また、職員の方の話より、現状を知ることでもできました。私自身テーマが大きく、なんとなく関わるのが難しい、できないという気持ちがありましたが、相談先もわかりハードルが下がったと感じました。私も意識を変えることができたし、身近な人たちに周知をはかってきたいと考えました。ありがとうございました。

〈オンライン〉

・とてもためになりました。自立支援を目指して欲しい。
・ヤングケアラーについては学ぶべき点が多いですが、市の取り組みについて知ることができて、勉強になりました。ありがとうございました。
・こうして研修会に参加することで、ヤングケアラーの実態を知り、実感を得られたことはとても大切な経験になりました。
・「空振りでもいい」「個人情報の取り扱いの通知」等を聞いて、今後、家族構成を見ながら「もしかしたら…」という視点を持つ事を認識できました。
・ヤングケアラーについては初めて聞きました。子供からの話で家庭に入って行くのは大変だろうと思います。家に固定電話がない世帯もあるだろうし、LINEは親のスマホからだとなかなか難しいのかもしれないと思いました。
・子供からのSOS発信ができるの良いのですが、なかなか難しい現状があると思いました。そこを周りの人が気付いていけるように関係職種が連携することが大切だと感じました。また、直接関わる事はなくても、相談電話・相談LINEがあることを周りに情報発信していく事も大切な役割と感じました。親側の拒否、子供の側の拒否もあり、どのように介入すれば良いのか悩むこともあります。年齢的に周りに知られたくない。と言うケースもあるので、本当に難しい問題だと思っています。

5. 今後の研修会で聴いてみたい・学びたい内容があればお聞かせください。

〈会場〉

・傾聴する力を伸ばせる研修
・今回の内容を事業所内だけでなく、法人や会社単位での講習をお願いしたい。とにかく周知が必要。
・続報も聞きたいです。
・この研修について、民生委員、福祉アドバイザーの方々への周知を兼ねた研修をお願いしたい。※実例があった場合に相談受付から、支援内容等を教えていただきたい。